

令和5年度 第2回学校協議会報告

日時：令和6年3月9日（土）14:00～15:30

会場：東大谷高等学校 多目的室1

1. 学校長挨拶
2. 協議会委員（敬称略）

委員：東 京子氏（成美会役員）

丸岡俊之氏（近畿大学教職教育部教授）

中村俊一氏（立志館ゼミナール取締役）

赤阪博之氏（堺市立三原台中学校校長）

前田能成氏（和泉市立南池田中学校校長 *所用のため欠席）

上田ゆかり氏（令和5年度PTA会長）

宮坂政宏氏（週刊教育プロ編集員）

事務局：長尾文孝（校長）

市居政彦（教頭）

東 明美（教務部長）

出水謙一郎（入試対策部長）

志藤真裕（情報部長）

吉永雅也（生活指導部長）

久富正彦（校務部長）

甘木智美（進路指導部長）

3. 議事

（1）議長選出 → 丸岡俊之氏（近畿大学教職教育部教授）

（2）現況報告

①学校全般について（校長より）

- ・在籍について
- ・今年度の高校入試について
- ・東大谷の併願校の定員増による入学者数予想（厳しい、戻り5%～10%）
- ・本日の専願対象基礎講座と入学前保護者説明会の目的

②高大連携プログラムについて（教務部長より）

- ・薬剤師育成プログラムの人数の推移
- ・3年生において 初めての辞退者が出る。（人間関係のトラブル）

この生徒は総合型選抜で摂南大学薬学部に合格

③令和6年度高校入試結果（入試対策部部長より）

- ・南河内から新規入学者が増加した。
- ・WEB媒体（インスタ、SNSの活用）の有効利用をもっと図りたい。
- ・入試で初めて東大谷高校に来る受験生も見られた。
- ・府立高校の定員増による影響で併願者の戻りが期待できない。
- ・今までのやり方を変え、専願者で定員数を充足させたい。
- ・ホームページのリニューアルも広報活動充実の一つである。

④令和5年度3年生大学等入試結果（進路指導部長より）

- ・国公立大学合格者→10年未来プロジェクトにより近畿圏外にも進路を選択している
- ・私立大学 関東系大学志願者が増加
 - 国際コース 外部検定の活用が目立つ
 - 近畿大学との新たな連携の可能性もある。

◎（2）①～④について

（協議会委員から質問）

一度も学校を見学に来ていない受験生は学校選択を誤る可能性がある。どのように生徒を学校見学に誘導しているのか

（事務局から回答）

リーフレットや動画で東大谷のそのままの姿を伝える。動画では長い動画は中学生には飽きられるため、短い動画に分割して配置することで視聴率が高くなる。

（3）学校評価アンケート結果について（教頭より）

（例年通りの特徴として）

- ・1年次は低めの満足度でスタートするが、学年が進行するごとに満足度が上昇していく。
- ・家庭学習の問題が浮き彫りになる。取り組む学習時間が極めて少ない。

（4）授業アンケート結果について（教頭より）

（全体説明）

- ・どの設問についても肯定的回答が70%を超えることが最優先事項
- ・難易度について「難しい」を20%未満に下げ、「やや難しい」を増やすことが大切
- ・総合評価は肯定的回答が5教科とも90%以上である。

（5）アンケート結果における自己評価について

- ・昨年と比較すると生徒は2/3の項目で上回り他は1p程度の降下、保護者では設問④以外は上回った。逆に教員は多くの項目で下回る結果となった。新型コロナ終息による日常への期待感と現実のギャップが大きかったことが考えられる。データ数の少なさによる揺らぎの可能性もある。
- ・設問④(夢や目標の存在)は生徒は昨年を4p上回った。特に1年生では89.4%と高い評価を得た。10年未来プロジェクトをさらに充実させ90%以上をめざす。
- ・進路指導に関わる設問⑤⑥⑦について生徒保護者とも昨年評価を上回った。担任団と進路指導部の連携が密になされ、きめ細かい指導ができた。
- ・設問⑨(自主的に学ぶ習慣)は生徒評価が66.8%と昨年度より低下。学校として大切な指標であり、10年未来プロジェクトの実施が各自の学習に繋がるよう指導を強化し次年度80%をめざす。また担任の協力のもと、フォーサイト手帳を効果的に活用できる生徒のさらなる増加をめざす。
- ・家庭学習の問題が浮き彫りになる。取り組む学習時間が極めて少ない。
- ・設問⑬学校行事については昨年生徒評価を下げたが全体的に評価が上がった。(生徒⑬10.2p⑭5.3p)特に文化祭校内部門で模擬店や出店を従来通りに復活させたことが行事の高評価に繋がった。
- ・設問⑮(全体としての満足度)について保護者評価は90%を超えたが生徒評価が76%(昨年73%)である。原因の1つとして生徒の感ずる自由度の少なさがあげられ、今後ある程度の規制緩和を講ずる必要がある。学年追跡では向上(現3年生は71.6→66.2→83.1)してはいるが、やはり最終9割をめざしたい。
- ・1年次は低めの満足度でスタートするが、学年が進行するごとに満足度が上昇していく。

◎ (3)・(4)・(5)について

(協議会委員から意見と提言)

- ・教員の評価が下がった原因として学校方針等に対する教員の不安や不満が考えられないか。
- ・設問⑨(自主的に学ぶ)についてはどこの学校でも低いためあちこちで問題になっている。10年未来プロジェクトの内容を充実すれば改善するのではないか。
- ・総合評価として、1年7割、2年7割、3年8割というのは満足していない傾向が見える。
- ・2割の卒業生が満足せず卒業するのは悪い意味での広告塔である。
- ・校則や学校行事等は内容やルールを含めて今の時代に合った形にするべきである。
- ・高校は華やかなイメージであるが文化祭は他の高校と比べて元気がなかった。
- ・学校評価や授業アンケートは評価の仕方を工夫するべきである。

- ・今年度は本中学校の私立専願率が40%から47.2%へと私立専願が増えた。私立はきっちり面倒を見てくれると思っている。
- ・授業は難しくとも生徒の様子を確かめながら授業していれば良いと感じている。
- ・授業の満足度が高いことは喜ばしいことであるが、期待値が低いと満足度は上がりやすくなる。期待されていてなおかつ満足度が高ければ良し。

(事務局から回答)

- ・学校満足度は他校比較(修学旅行, 制服か私服か, 文化祭等)ではかなり低い。学校の教育方針として変えるべきでない部分はあるが, 生徒の自主性を尊重し自由度を上げる試みは必要であると認識している。
- ・私立高校に求められる面倒見の良さをさらに充実させ満足度を上げていきたい。
- ・家庭での自主的学習時間が少ない生徒は自習室を利用させる等の対策を考えている。
- ・学校評価アンケートについては今一度内容を精査し生徒保護者の思いが見えるものにしていきたい。
- ・授業の形としては2通りあり, 生徒に合わせる教員, 生徒に合わせず自分のやり方を変えない教員がいる。

◎協議会委員よりその他の意見と要望

- ・東大谷高校の魅力をどんどん宣伝してほしい。
- ・1万3000万人の同窓会員は東大谷に期待している。良さについて自信を持って伝えて欲しい。
- ・東大谷の教育の良さは, 在学中は理解できずとも, 社会に出た後に必ず実感できる。
- ・キャリア教育を学べる機会を増やすべきである。海外ではキャリア教育を徹底している。
- ・生徒が主役の学校であり, こどもの成長を保護者が感じることができる学校にならないといけないが, 近年こどもの考え方, 親の考え方が多様なため, 対応が難しくなっている。
- ・教員, 学校が変わる必要はあるが, 変える必要がある部分と必要のない部分を明確に示すべきである。

(事務局より)

学校のめざす方向性について色々な意見を賜り感謝する。効果的に取り入れ, 今後ますます評価の高い学校をめざして改革を進めていく。